

☆☆☆☆「どうしたらよくなるか考え行動する」☆☆☆☆

上小だより

第18号

上野原市立上野原小学校
発行日令和3年1月12日
発行者 校長 大場 卓
TEL 0554-62-3104



冬来たいなば春遠からじ…



今年は元日からマイナス5度と冷え込み、冬晴れの日が続いていました。年が明けてからもコロナウイルスが猛威を振るっており、学校としては、できる限りの対策を講じながら、学力保障と共に、子どもたちの貴重な体験の場を確保していきたいと考えています。

「冬きたりなば、春とおからじ」とは、辞書を引くと「つらい時期を耐え抜けば、

幸せな時期は必ず来るというたとえ。」と書いてありました。この言葉は、イギリスのシェリーという人の詩の一節から来ているそうです。外国でも人々の感じることは結構似ているのだなと思います。2020年はコロナウイルスの影響で大変なことがたくさんありました。しかし、そんな中でも子どもたちのがんばる様子や楽しそうな笑顔にたくさん力をもらうことができました。3学期は子どもたちにとって、1年のまとめと新しい学年に向けての準備の時期です。2021年が子どもたちにとってよりよい年になるように、職員一同力を尽くしていきたいと思っています。私たち教職員にとって、子どもたちの成長は大きな力となります。保護者や地域の皆様にも引き続き学校を支えていただけますようお願いいたします。

干支のお話…



昔、まんが日本昔ばなしという番組で、十二支の由来についてやっていた。前の日からゴールをめざした牛が、ゴール直前自分の上に乗ってきたネズミに先を越されてしまい「もうもう」と泣く…という話。誰かの幸せは誰かのお陰…ということかなあと思います。そう思えば、悪くない気がします。

コロナウイルスへの対応について

ご承知のように、コロナウイルス感染拡大防止のため、国や県市でも様々な取り組みがなされています。上野原小学校でも、これまでお知らせしてきたとおり、市教委とも連絡を取りながら子どもたちの安心・安全のためできる限りの対応をしております。新学期を迎えるにあたり、再度対応を確認し、引き続きリスク回避を図っていききたいと思います。ご家庭でも、検温、健康観察を徹底し、必要な対応を可能な限り行うなど家庭内感染のリスク回避にもご協力をお願いいたします。子どもたちにとって大切な学校生活を安心して送れるようご理解とご協力をお願いいたします。